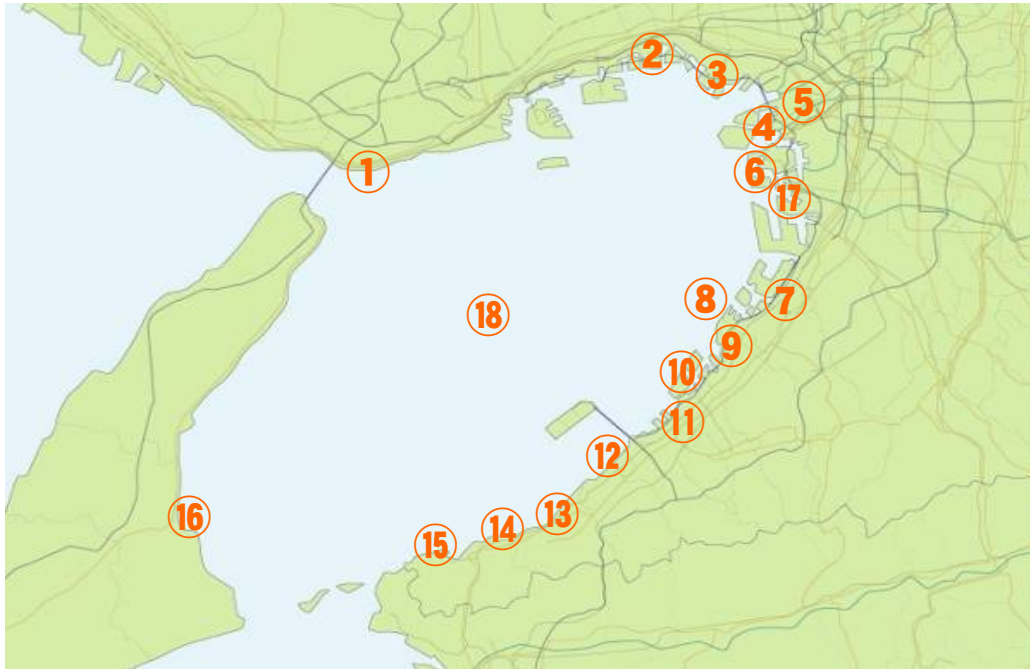


平成23年度 第4回大阪湾生き物一斉調査について

1 調査概要

平成23年は6月4日を中心に、大阪湾の18地域において931名が参加して、第4回大阪湾生き物一斉調査を実施しました。調査地域及び担当団体等は図1に示すとおりです。

なお、地域の番号はこれまでの調査と整合させずに、通し番号としています。



調査地点	調査地点の環境	担当団体	参加人数	
1	アジュール舞子	磯・岩礁	須磨海浜水族園ボランティア	214
2	香榎園浜	砂浜、干潟	西宮自然保護協会	76
3	甲子園浜海浜公園	干潟	NPO法人 海浜の自然環境を守る会	85
		干潟	生き生き地球館 子どもエコクラブ	60
4	矢倉海岸	干潟	西淀自然文化協会	88
5	十三干潟（淀川）	干潟	(社)大阪自然環境保全協会 淀川自然観察会 [6/5]	29
6	大阪南港野鳥園	人工磯・干潟	大阪南港野鳥園	15
7	高師浜	砂浜、干潟	浜寺公園自然の会	23
8	大津川河口（左岸）	人工磯・岩礁、干潟	きしわだ自然資料館	(28)
9	阪南二区埋立地	干潟		29
10	近木川河口	砂浜、岩礁、干潟	NPO法人 シニア自然大学校 森と海の自然科 [6/2]	22
		干潟	貝塚市立自然遊学館 [5/15]	64
11	二色の浜	砂浜、磯	男里川干潟を守る会	52
12	櫻井川河口 岡田浦海岸	砂浜、磯・岩礁、干潟		
13	樽井海岸 男里川河口干潟	砂浜、磯・岩礁、干潟		
14	せんなん里海公園	磯、岩礁	里海くらぶ連絡協議会	72
15	東川（落合川）河口	磯・岩礁、干潟	きしわだ自然資料館 [6/5]	18
16	洲本市大浜	砂浜	国立公園成ヶ島を美しくする会	18
17	堺2区埋立地	磯・岩礁、干潟	(社)大阪自然環境保全協会 NPO法人 釣り文化協会	48
			大阪コミュニケーションアート専門学校、 海遊館	18
18	大阪湾 [スナメリ調査]	海域	大阪コミュニケーションアート専門学校、 海遊館	18

図1 平成23年度の調査箇所一覧

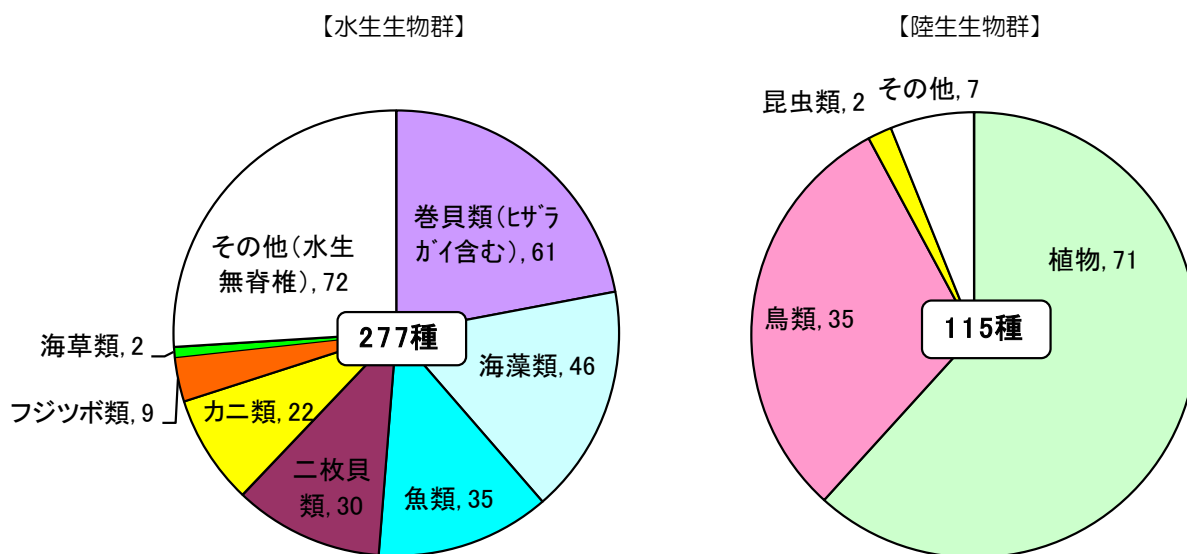
2. 出現種

本年度の大阪湾生き物一斉調査によって確認された出現種を表 1 に示しました。

種名まで同定された種類は 392 種（うち、調査シートのリスト掲載種 41 種）でした。

水生生物群では、海藻類及び海草類が 48 種、動物は貝類が 91 種（巻き貝 61 種、二枚貝 30 種）、魚類が 35 種、カニ類が 22 種等でした。陸生生物群では、植物が 71 種、鳥類が 35 種等でした（図 2）。

出現種のうち特筆すべき種として、兵庫県、大阪府、水産庁、WWF の各 RDB と環境省のレッドリスト（2007 年）に掲載されている種に該当するものを付表に示しました。全体の貴重種としては 51 種類が該当しました。このうち、海藻類はスジアオノリ、ホソアヤギヌ等の 3 種、海草類はコアマモの 1 種、植物（リスト掲載種のみ）はコウボウムギ、ハマゴウ、ハマボウフウの 3 種、貝類はウミニナ、クリイロカワザンショウガイ、フトヘナタリ、クチバガイ、ソトオリガイ、ヤマトシジミ等の 23 種、カニ類はシオマネキ、ハクセンシオマネキ等の 10 種、魚類はイダテンギンボ等の 5 種、その他は多毛類のコケゴカイ、エビ類のテッポウエビ、アナジャコ類のハサミシャコエビ等の 6 種でした。



注) 1. 数字は種数を示す。

2. 陸生生物群の「その他」は爬虫類、両生無脊椎類、陸生無脊椎動物を含み、カメ類等若干の水生生物を含む。

図 2 平成 23 年度出現種の分類群別種数

表1(1) 出現種一覧(平成23年度)

分類群	No.	種名	分類群	No.	種名
海藻類	(緑藻類)	1 アオサ科sp.1	植物	91 シャリンバイ	
		2 アオサ科sp.2		92 シロバナマンテマ	
		3 アオサ属		93 スイバ	
		4 アオノリ属		94 スベリヒユ	
		5 アナアオサ		95 セイタカアワダチソウ	
		6 ウスバアオノリ		96 セイバンモロコシ	
		7 スジアオノリ		97 セイヨウタンポポ	
		8 ネダシグサ属		98 ソテツ	
		9 ハネモ属		99 チガヤ	
		10 ヒメアオノリ		100 ツボミオオバコ	
		11 ヒラアオノリ		101 ツメクサ	
		12 ボウアオノリ		102 ツルナ	
		13 ボタンアオサ		103 ツルヨシ	
		14 ミナミアオサ		104 ナギナタガヤ	
		15 ミル		105 ナルトサウギク	
	(褐藻類)	16 アカモク		106 ナンキンハゼ	
		17 アミシグサ		107 ネズミホソムギ	
		18 ウミウチウ		108 ノゲシ	
		19 カジメ		109 ノボロギク	
		20 シオミドロ属		110 ハコベ	
		21 シダモク		111 ハマウド	
		22 タマハハキモク		112 ハマエンドウ	
		23 ヒジキ		113 ハマオモト	
		24 フクロノリ		114 ハマゴウ	
		25 ヨレモクモドキ		115 ハマサジ	
		26 ワカメ		116 ハマダイコン	
	(紅藻類)	27 アマノリ属		117 ハマツメクサ	
		28 アヤギヌ		118 ハマナス	
		29 イギス属		119 ハマビシ	
		30 イソダンツウ		120 ハマヒルガオ	
		31 イワノカワ科		121 ハマボウフウ	
		32 ウツロムカデ		122 ハマボッス	
		33 オキツノリ		123 ヒエガエリ	
		34 オゴノリ		124 ヒナゲシ	
		35 オバクサ		125 ヒメムカシヨモギ	
		36 カバノリ		126 ヘラオオバコ	
		37 キョウノヒモ		127 ホウキギク	
		38 クロモ		128 ホコガタアカザ	
		39 コスジフシツナギ		129 ホソムギ	
		40 コメノリ		130 マメゲンバイナズナ	
		41 シラモ		131 マンテマ	
		42 シワノカワ		132 ムクノキ	
		43 スギノリ		133 メマツヨイグサ	
		44 ススカケベニ		134 ヨシ	
		45 ツノマタ		135 ヨモギ	
		46 ツノマタ属		136 アオガイ	
		47 トサカマツ		137 アカニシ	
		48 ヒメテングサ		138 アシヤガイ	
		49 フクロフノリ		139 アダムスタマガイ	
	50 フダラク	140 アメフラン			
	51 ホソアヤギヌ	141 アラムシロガイ			
	52 マクサ	142 アラレタマキビガイ			
	53 マツノリ	143 イシダタミガイ			
	54 ミソオゴノリ	144 イシマキガイ			
	55 ミリン	145 イナザワハベガイ			
	56 ムカデノリ	146 イボニシ			
	57 ユカリ	147 ウスヒザラガイ			
	58 無節サンゴモ類	148 ウノアシガイ			
	59 ユレモ目	149 ウミニナ			
海草類	60 アマモ	150 エビスガイ			
61 コアマモ	151 オオヘビガイ				
植物	62 アカメガシワ	152 カキウラクチキレモドキ			
	63 アキニレ	153 カゴメガイ			
	64 アメリカネナシカズラ	154 カニモリガイ			
	65 アレチギシギシ	155 カラマツガイ			
	66 アレチムラサキ	156 カワザンショウガイ			
	67 イソヤマテンツキ	157 カワザンショウガイ類			
	68 イヌホオズキ	158 キクノハナガイ			
	69 イヌムギ	159 クボガイ			
	70 ウスベニツメクサ	160 クモリアオガイ			
	71 ウマゴヤシ	161 クリイロカワザンショウガイ			
	72 オオアレチノギク	162 クリイロカワザンショウガイ属			
	73 オオオナモミ	163 クリイロコミミガイ			
	74 オオホウキギク	164 クロツケガイ			
	75 オカヒジキ	165 ケハダヒザラガイ			
	76 カタバミ	166 コウダカアオガイ			
	77 カモシグサ	167 コシダカガンガラ			
	78 カヤツリグサ属	168 コビトウラウズガイ			
	79 キンギン	169 ゴマツボ			
	80 ギョウギシバ	170 コモレビコガモガイ			
	81 クロマツ	171 サクラアオガイ			
	82 コウボウシバ	172 サザエ			
	83 コウボウムギ	173 サツマクリイロカワザンショウガイ			
	84 コニシキソウ	174 シボリガイ			
	85 コマツヨイグサ	175 シマメノウフネガイ			
	86 コメツブウマゴヤシ	176 スガイ			
	87 コメツブツメクサ	177 スズメハマツボ			
	88 サボテン類	178 タマキビガイ			
	89 シナダレスズメガヤ	179 チグサガイ			
	90 シバ属	180 ツメタガイ			
			貝類 (巻き貝)	136 アオガイ	
				137 アカニシ	
				138 アシヤガイ	
			139 アダムスタマガイ		
			140 アメフラン		
			141 アラムシロガイ		
			142 アラレタマキビガイ		
			143 イシダタミガイ		
			144 イシマキガイ		
			145 イナザワハベガイ		
			146 イボニシ		
			147 ウスヒザラガイ		
			148 ウノアシガイ		
			149 ウミニナ		
			150 エビスガイ		
			151 オオヘビガイ		
			152 カキウラクチキレモドキ		
			153 カゴメガイ		
			154 カニモリガイ		
			155 カラマツガイ		
			156 カワザンショウガイ		
			157 カワザンショウガイ類		
			158 キクノハナガイ		
			159 クボガイ		
			160 クモリアオガイ		
			161 クリイロカワザンショウガイ		
			162 クリイロカワザンショウガイ属		
			163 クリイロコミミガイ		
			164 クロツケガイ		
			165 ケハダヒザラガイ		
			166 コウダカアオガイ		
			167 コシダカガンガラ		
			168 コビトウラウズガイ		
			169 ゴマツボ		
			170 コモレビコガモガイ		
			171 サクラアオガイ		
			172 サザエ		
			173 サツマクリイロカワザンショウガイ		
			174 シボリガイ		
			175 シマメノウフネガイ		
			176 スガイ		
			177 スズメハマツボ		
			178 タマキビガイ		
			179 チグサガイ		
			180 ツメタガイ		

水色：種まで同定されていないもの

表1(2) 出現種一覧(平成23年度)

分類群	No.	種名	分類群	No.	種名	
貝類 (巻き貝)	181	ヒザラガイ	ヤドカリ類	271	ケアシホンヤドカリ	
	182	ヒナユキスズメ		272	コブカナダマシ	
(二枚貝)	183	ヒメケハダヒザラガイ	カニ類	273	コブヨコバサミ	
	184	ヒメコザラ		274	ホンヤドカリ	
	185	ヒモイカリナマコツマミガイ		275	ユビナガホンヤドカリ	
	186	ヒラドカワザンショウガイ		276	ヨモギホンヤドカリ	
	187	ブドウガイ		277	アカテガニ	
	188	フトヘナタリ		278	アシハラガニ	
	189	ホソウミニナ		279	イシガニ	
	190	ホソスジアオガイ		280	イソガニ	
	191	マダラウミウシ		281	カクベンケイガニ	
	192	マツバガイ		282	キンセンガニ	
	193	マルウスラタマキビガイ		283	クロベンケイガニ	
	194	ムギガイ		284	ケアシヒライソガニ	
	195	ヤスリヒザラガイ		285	ケフサイソガニ	
	196	ヨメガカサガイ		286	シオマネキ	
	197	ヨフバイ		287	スナガニ	
	198	レイシガイ		288	タカノケフサイソガニ	
	199	アサリ		289	チチュウカイミドリガニ	
	200	イガイダマシ		290	ハクセンシオマネキ	
	201	イワガキ		291	ハマガニ	
	202	ウスカラシオツガイ		292	ヒメベンケイガニ	
	203	ウネナシトマヤガイ		293	ヒライソガニ	
	204	カガミガイ		294	マキトラノオガニ	
	205	カリガネガイ		295	モクズガニ	
	206	キクザルガイ		296	ヤマトオサガニ	
	207	クイチガイサルボウ		297	ユビアカベンケイガニ	
	208	クチバガイ		298	ヨツハマガニ	
	209	クログチ		昆虫類	299	オオアメンボ
	210	ケガキ			300	クマバチ属
211	コウロエンカワヒバリガイ	301	トビムシ類			
212	コハクノツユガイ	302	ハグロトンボ幼虫			
213	サクラガイ	303	ハツタ科			
214	サルボウガイ	304	ヒラタドコムシ科幼虫			
215	セミアサリ	魚類	305	アゴハゼ属		
216	ソトオリガイ		306	アサヒアナハゼ		
217	チリハギガイ		307	アナハゼ		
218	トマヤガイ		308	アベハゼ		
219	ナミマガシワガイ		309	アミメハギ		
220	ヒメシラトリガイ		310	アユ		
221	フナクイムシ		311	イシガレイ		
222	ホトギスガイ		312	イソギンポ科		
223	マガキ		313	イダテンギンポ		
224	マルミエガイ		314	ウナギ		
225	ミドリイガイ		315	ウロハゼ		
226	ミミエガイ		316	オオクチバス		
227	ムラサキイガイ		317	オニオコゼ		
228	ヤマトシジミ		318	カサゴ科		
多毛類	229		Harmothoe属	319	カジハタ	
	230		Hediste属	320	キチヌ	
	231		アンナゴコカイ	321	キウセン	
	232		イシソコカイ	322	クサフグ	
	233	イトゴカイ科	323	クジメ		
	234	ウスマキゴカイ科	324	クロダイ		
	235	エゾカサネカンザシゴカイ	325	サンマ		
	236	オトヒメゴカイ	326	シモフリシマハゼ		
	237	カニヤドリカンザシゴカイ	327	スジハゼ		
	238	カンザシゴカイ科	328	スズキ		
	239	ケヤリムシ	329	チチフ		
	240	ゴカイ科	330	トビヌメリ		
241	コケゴカイ	331	ドロマ			
242	サンハチウロコムシ	332	ドンコ			
243	タマシキゴカイ	333	ナベカ			
244	フサゴカイ科	334	ヒメハゼ			
245	マダラウロコムシ	335	フナ属			
246	ミスヒキゴカイ	336	ブルーギル			
247	ミスヒキゴカイ科	337	ボラ			
248	ヤッコカンザシ	338	ボラ科			
249	多毛類	339	マコガレイ			
ヨコエビ・ワレカラ類	250	ドロクダムシ属	340	マハゼ		
	251	ニホンドロソコエビ	341	ミミズハゼ属		
	252	ヒゲナガヨコエビ属	342	ムスジガジ		
	253	ヒゲツノメリタヨコエビ	343	ムラソイ		
	254	ヒメハマトビムシ	344	メジナ		
	255	フサゲモクス	345	メジナ属		
	256	ボシエラトゲオヨコエビ	346	メバル		
	257	マルエラワレカラ	347	メバル属		
258	モズミヨコエビ	爬虫類	348	アオダイショウ		
259	ヨコエビ類		349	カナヘビ		
260	ワレカラ類		350	クサガメ		
フジツボ類	261		アメリカフジツボ	351	シマヘビ	
	262	イワフジツボ	352	ミシシッピアカミミガメ		
	263	カメノテ	鳥類	353	アオサギ	
	264	クロフジツボ		354	イソシギ	
	265	サンカクフジツボ		355	イソヒヨドリ	
	266	シロスジフジツボ		356	ウミネコ	
	267	タテジマフジツボ		357	オオヨシキリ	
268	ドロフジツボ	358		カルガモ		
269	ヨーロッパフジツボ	359		カモメ		
ヤドカリ類	270	イソカナダマシ	360	カワウ		

水色：種まで同定されていないもの

表1(3) 出現種一覧(平成23年度)

分類群	No.	種名	分類群		No.	種名						
			その他	その他								
鳥類	361	キアシシギ	その他	その他	451	ハシリグモ類						
	362	キジバト			452	シマウミグモ						
	363	キセキレイ			453	キヌイタナイス種群						
	364	コアシサン			種類数		392					
	365	コイサギ										
	366	コサギ										
	367	コシアカツバメ										
	368	コチドリ										
	369	ササゴイ										
	370	シロチドリ										
	371	スズメ										
	372	セッカ										
	373	ダイサギ										
	374	チュウシャクシギ										
	375	チョウゲンボウ										
	376	ツバメ										
	377	トビ										
	378	ハクセキレイ										
	379	ハシブトガラス										
	380	ハシボソガラス										
	381	ヒバリ										
	382	ヒヨドリ										
	383	ホシハジロ										
	384	マガモ										
	385	ミサゴ										
	386	ムクドリ										
	387	ユリカモメ										
	哺乳類	388						タヌキ				
	その他	カイメン類						389	クロイソカイメン			
								390	ダイダイイソカイメン			
		クラゲ類						391	アカクラゲ			
								392	カミクラゲ			
								393	ミスクラゲ			
		イソギンチャク類						394	タテジマイソギンチャク			
								395	ヒメイソギンチャク			
								396	ペリルイソギンチャク			
								397	ヨロイイソギンチャク			
陸棲巻貝		398	ウスカワマイマイ									
貧毛類		399	イソミミズ									
等脚類		400	イソコツブムシ属									
		401	キタフナムシ									
		402	コツブムシ科									
		403	ニホンコツブムシ									
		404	ニホンハマワラジムシ									
		405	フナムシ									
		406	イソテッポウエビ									
エビ類		407	イソテッポウエビ類									
		408	エビジャコ属									
		409	カワリスマエビ属									
		410	スジエビ									
		411	スジエビモドキ									
		412	スジエビ属									
		413	セジロムラサキエビ									
		414	テッポウエビ									
		415	テッポウエビ科									
		416	テナガエビ									
		417	ユビナガスジエビ									
アナジャコ類		418	アナジャコ科									
		419	ハザミジャコエビ									
ヒトデ類		420	イトマキヒトデ									
		421	チビイトマキヒトデ									
		422	トゲモミジガイ									
		423	ヤツデヒトデ									
ウニ類		424	サンショウウニ									
		425	ハフウニ									
		426	ムラサキウニ									
ナマコ類		427	イシコ									
		428	ヒモイカリナマコ									
		429	マナマコ									
ホヤ類		430	イタボヤ類									
		431	エボヤ									
		432	サガミシモフリボヤ									
		433	シロボヤ									
		434	フタスジボヤ									
		435	マンジュウボヤ									
		436	カタユレイボヤ									
		437	ホヤ綱									
その他		438	ヒドロ虫綱									
	439	カフトクラゲ										
	440	ウスヒラムシ										
	441	オオツノヒラムシ										
	442	ミノヒラムシ										
	443	ヒラムシ類										
	444	針細虫目										
	445	ヒモムシ類										
	446	コケムシ綱										
	447	フサコケムシ										
	448	チゴケムシ										
	449	マダコ										
	450	サメハダホシムシ科										

水色：種まで同定されていないもの

3. リスト掲載種の出現状況

3-1. 平成23年度結果

リスト掲載種の調査箇所別出現状況を表2に示しました。

なお、一連の環境で行われた近傍の地点は、過大評価を避けるため統合しました。

表2 リスト掲載種の調査箇所別出現状況（平成23年度）

分類群		種名	地点No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	出現頻度（全17箇所）		
				アジュール舞子	香櫃園浜	甲子園浜（2地点）	矢倉海岸	十三干潟	大阪南港野鳥園	高節浜	大津川河口（左岸）	阪南二区埋立地	近木川河口（2地点）	二色の浜（南端）	櫻井川河口・岡田浦海岸	男里川河口	せんなん里海公園	栗川河口	洲本市大浜	堺二区埋立地（生物共生臨岸実験施設）			
海藻類	緑藻類	アナアオサ		●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13	
	緑藻類	スジアオノリ			●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	6	
	紅藻類	オゴノリ				●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6	
植物		ハマダイコン				●	●		●						●	●	●	●	●	●	●	7	
		ハマゴウ			●		●		●						●	●	●	●	●	●	●	6	
		コウボウムギ		●	●								●	●	●	●	●	●	●	●	●	6	
		オカヒジキ								●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7	
		ハマボウフウ			●	●				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7	
		ハマウド					●		●					●	●	●	●	●	●	●	●	5	
貝類	(巻き貝)	タマキビガイ		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	
		アラレタマキビガイ		●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	
		イボニシ		●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13	
		イシマキガイ			●		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7	
		フレリトゲアメフラシ																				0	
	(二枚貝)	アサリ		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
		ケガキ		●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9
		マガキ		●				●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17
		ムラサキイガイ			●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6
		コウロエンカワヒバリガイ			●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8
		ウネナシトマヤガイ					●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6
		ウスカラシオツガイ			●																		1
		クチバガイ			●							●	●	●					●	●			6
フジツボ類	クロフジツボ		●												●	●					●	4	
	アカフジツボ																					0	
	タテジマフジツボ			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14
	シロスジフジツボ										●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	5	
	ドロフジツボ					●																3	
	アメリカフジツボ			●	●	●			●													7	
	ヨーロッパフジツボ			●	●	●	●															5	
ヤドカリ類	ホンヤドカリ		●		●							●	●				●	●	●	●	●	7	
	ユビナガホンヤドカリ			●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	
カニ類	アカテガニ					●	●		●			●	●	●	●	●						5	
	スナガニ											●			●						●	3	
	ヒライソガニ		●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	
	イソガニ		●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	
	ケフサイソガニ		●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11	
	タカノケフサイソガニ		●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11	
	ハクセンシオマネキ		●		●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7	
	ヤマトオサガニ									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	5	
	オウギガニ																					0	
	アシハラガニ						●	●				●			●			●				5	
	チュウカイミドリガニ			●	●								●									3	
クロベンケイガニ					●	●		●													3		
その他	多毛類	多毛類		□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
	ヨコエビ類	ヨコエビ類		□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
種類数（●の数）				12	25	22	20	7	22	14	19	16	25	11	27	19	14	28	16	9	40		

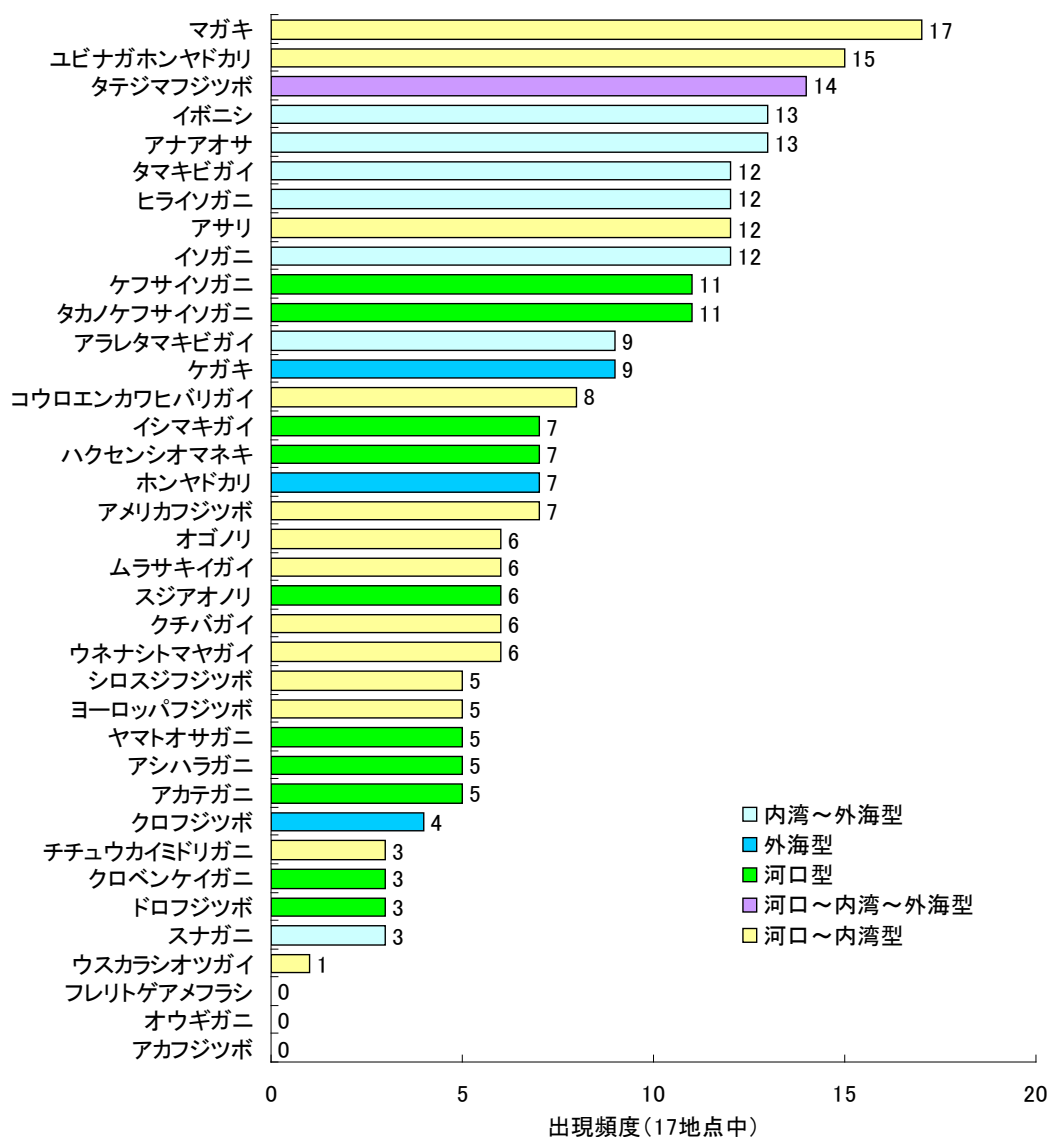
注：1）●：種まで同定されたもの □：種まで同定されていないもの（種数に含めない）
2）種名は各分類群中で五十音順。

リスト掲載種の出現頻度を河口、内湾、外海等の生態型とともに整理し、図3に示しました。各種の生態型については、大阪湾生き物一斉調査解説ブック、第24回 淀川環境委員会 4.汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類しました。

全体に内湾型もしくは内湾～外海型の種の出現頻度が高く、マガキは17地点全ての地点で、ユビナガホンヤドカリは17地点中15地点で確認されました。河口型ではケフサイソガニ、タカノケフサイソガニが11地点で確認され、外海型のケガキは9地点、ホンヤドカリは7地点で確認されました。

なお、リストに掲載されており、今回確認されなかったのはフレリトゲアメフラシ、オウギガニ、アカフジツボの3種でした。

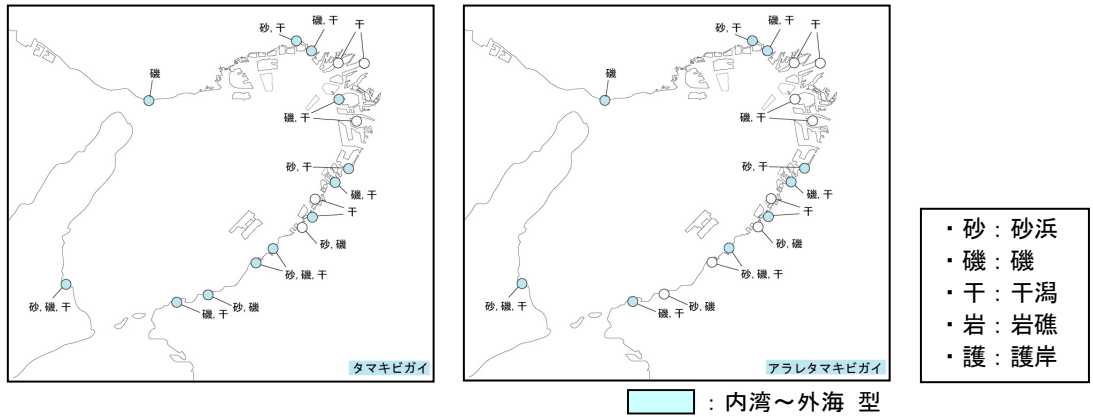
表2 リスト掲載種の調査箇所別出現状況（平成23年度）



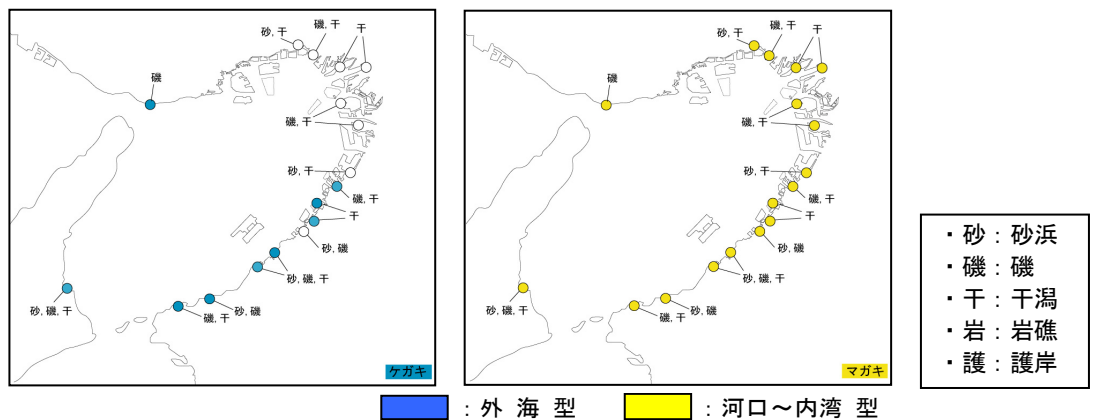
リスト掲載種を中心に、大阪湾の代表的な種の分布を図4(1)～(4)に示しました。

貝類・ヤドカリ類

アラレタマキビガイ、タマキビガイは内湾～外海型ですが、アラレタマキビガイはより高潮帯の波しぶきの当たる所を好み、静穏な湾奥を除く広域で出現していました。タマキビガイは潮間帯に普通にみられ、湾内のほぼ全域で出現していました。



- 外海型のケガキは湾中間域より湾奥では出現せず、これに対し河口～内湾型のマガキは全域で出現していました。



- 外海型のホンヤドカリは舞子、淡路島の洲本市大浜及びせんなん里海公園の湾口側と、甲子園浜で出現していました。これに対し、河口～内湾型のユビナガホンヤドカリは一部ホンヤドカリと重複し、湾内のほぼ全域で出現していました。

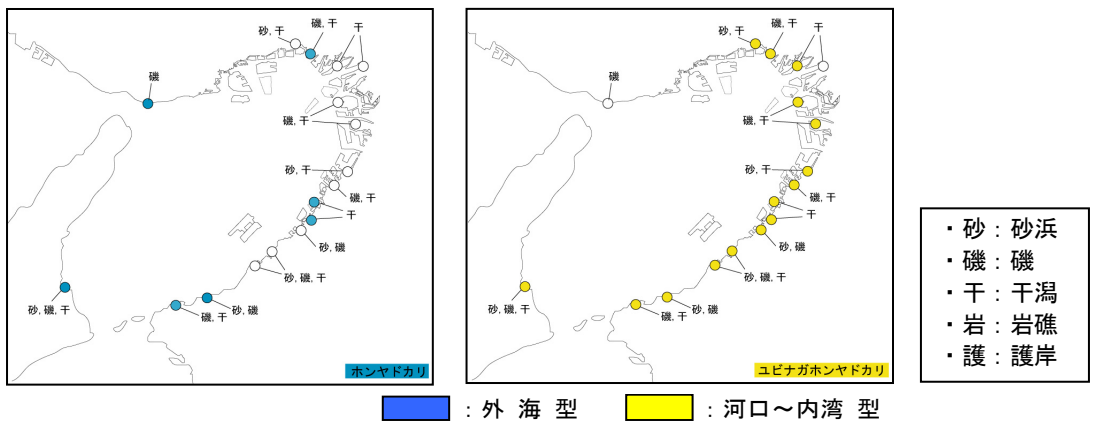
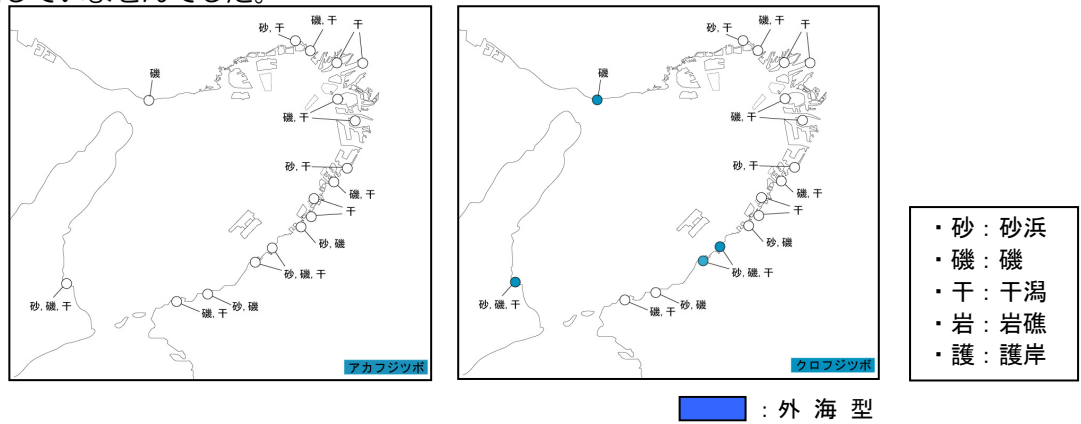


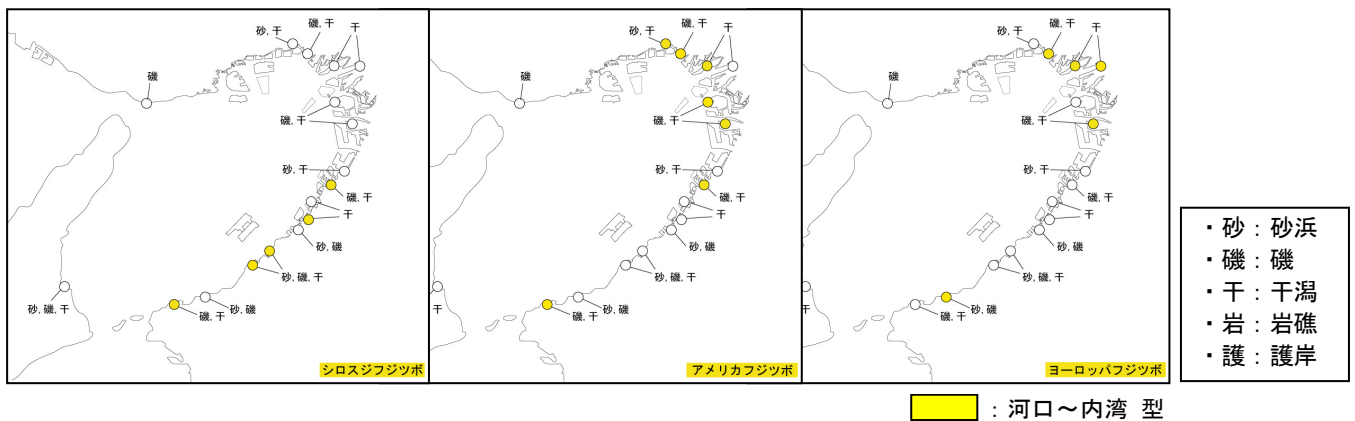
図4(1) 代表的な種の分布(貝類、ヤドカリ類)ー平成23年度

フジツボ類

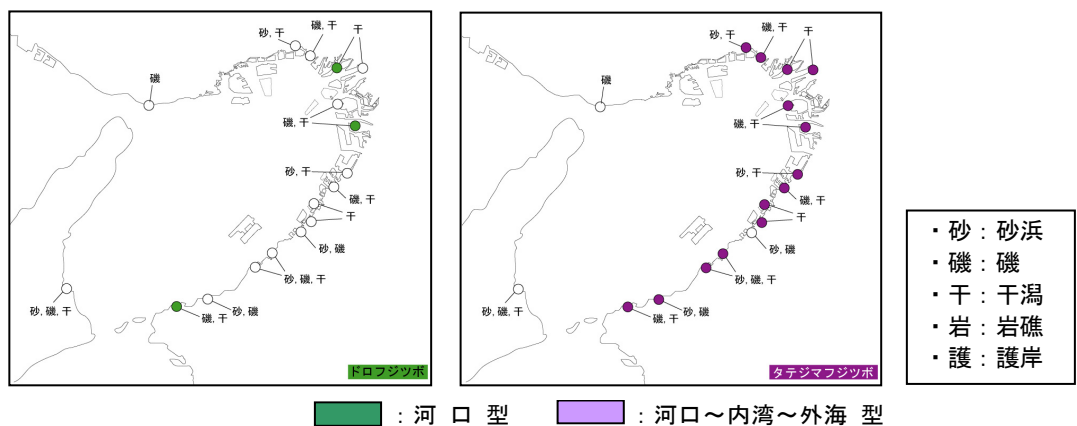
- 外海型のクロフジツボは湾中間域より湾口側で出現し、同型のアカフジツボは今年は出現していませんでした。



- 河口～内湾型のシロスジフジツボは大阪府側の湾中間域～湾口で出現し、同型のアメリカフジツボとヨーロッパフジツボは大阪府側の湾奥～湾中間域一帯で出現していました。



- 広域型のタテジマフジツボは大阪湾のほぼ全域で出現していました。一方、河口型のドロフジツボは淡水の影響の強い3地点で出現していました。



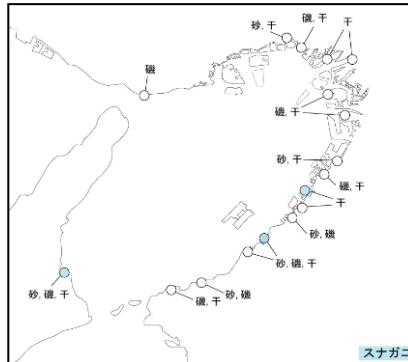
- アカフジツボやドロフジツボは主に潮下帯に付着することから、観察される機会が少なかったことも考えられます。

図4(2) 代表的な種の分布（フジツボ類）－平成23年度

カニ類

- 砂浜に生息するスナガニ¹が確認されたのは淡路島の洲本市大浜と大阪府側湾中間域の阪南二区埋立地及び岡田浦海岸の砂浜がある地点でした。

砂浜に生息する

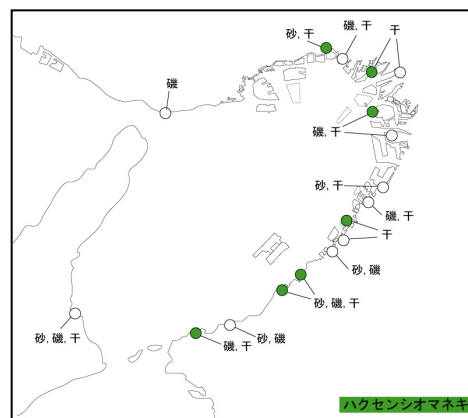
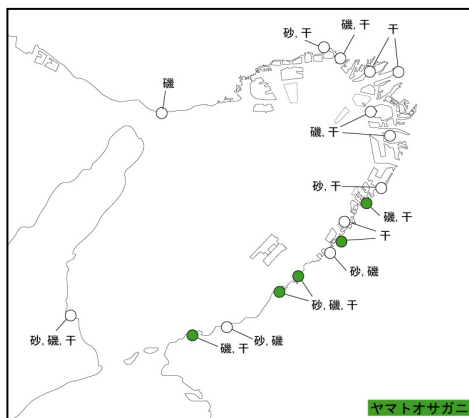


□ : 内湾～外海 型

- ・砂 : 砂浜
- ・磯 : 磯
- ・干 : 干潟
- ・岩 : 岩礁
- ・護 : 護岸

- 河口の泥干潟に生息するヤマトオサガニ、砂泥～砂礫の干潟に生息するハクセンシオマネキは男里川、樫井川、東川の河口などの干潟のある地点で出現していました。

泥 <干潟に生息する> 砂泥、砂礫



- ・砂 : 砂浜
- ・磯 : 磯
- ・干 : 干潟
- ・岩 : 岩礁
- ・護 : 護岸

■ : 河口型

- アシハラガニやクロベンケイガニ、アカテガニ等も河口の地点の一部でのみ出現していました。

砂泥・粘土質 <河口のヨシ原等に生息する> 草地・崖・石垣

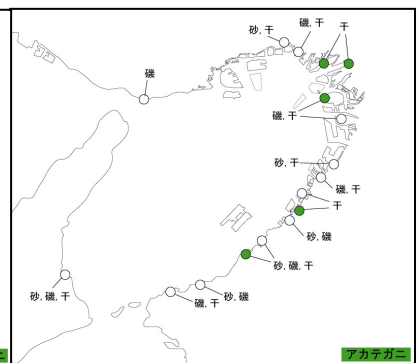
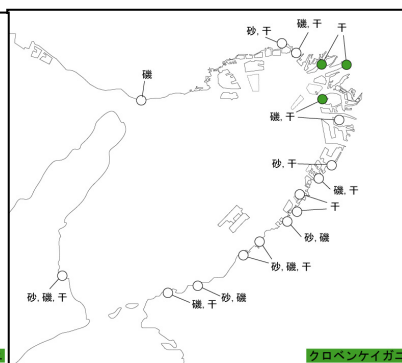
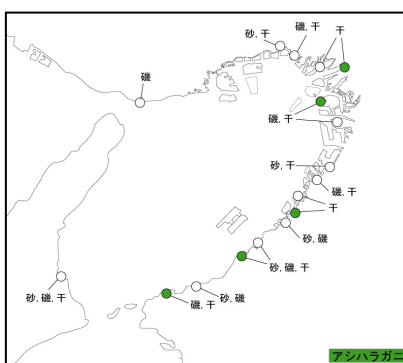


図4(3) 代表的な種の分布(カニ類)ー平成23年度

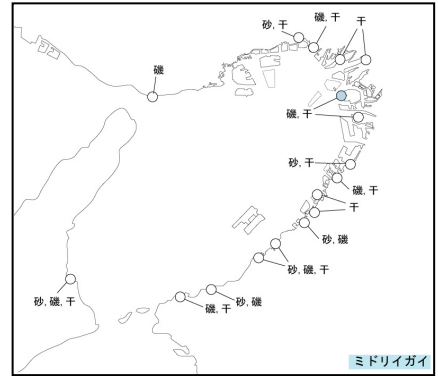
■ : 河口型

¹ スナガニ類を指す(巣穴のみを確認した場合を含むため)

外来種

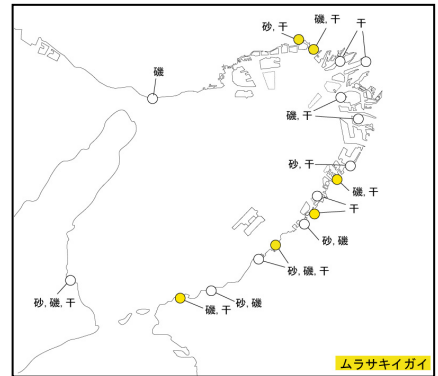
- ミドリイガイが出現したのは湾奥の 1 地点だけでした。

■ : 内湾～外海 型



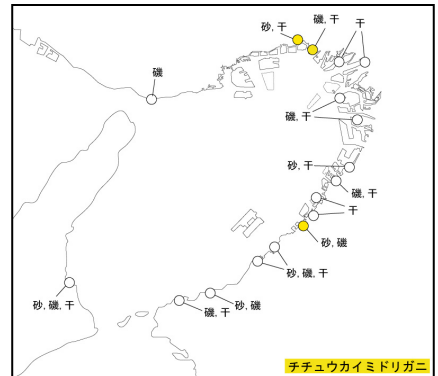
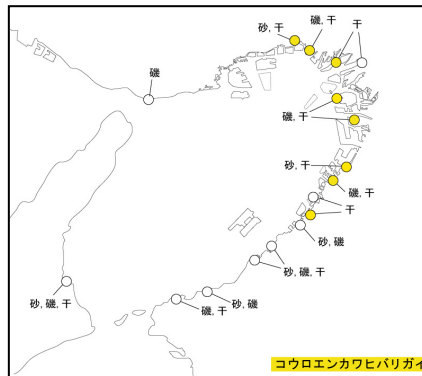
- ムラサキイガイは広域で出現していました。

■ : 河口～内湾 型

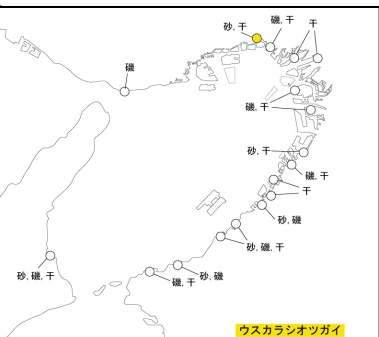
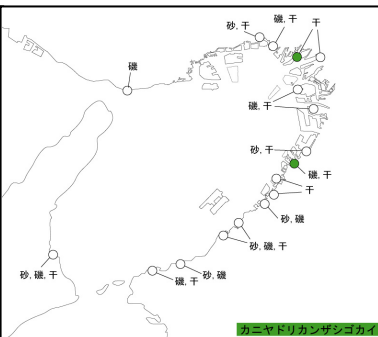
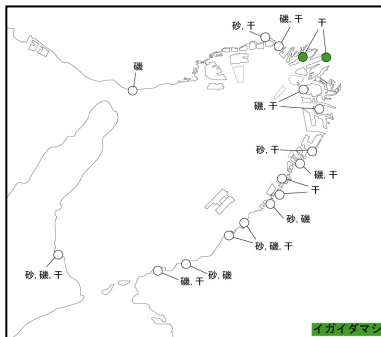


- コウロエンカワヒバリガイやチチュウカイミドリガニは湾中間域～湾奥で出現していました。

■ : 河口～内湾 型



- 河口型のイガイダマシ、カニヤドリカンザシゴカイ、ウスカラシオツガイは湾奥あるいは湾中間域の限定された地点で出現していました。



- ・ 砂 : 砂浜
- ・ 磯 : 磯
- ・ 干 : 干潟
- ・ 岩 : 岩礁
- ・ 護 : 護岸

■ : 河口型 ■ : 河口～内湾 型

- 外来種の分布はムラサキイガイを除き、湾中間域～湾奥で多い傾向がみられました。

図4(4) 代表的な種の分布(外来種)ー平成23年度

3-2. 過年度との比較

リスト掲載種について、平成20～22年度調査結果と併せて整理し、表3に示しました。

平成20年度のリスト掲載種は41種でしたが、昨年度の調査状況を踏まえ、平成21年度以降は一部の種の入替えや追加を行い43種（多毛類、ヨコエビ類含まず）を調査シートに掲載して実施しました。また、各調査箇所の調査場所については、団体によっては調査海岸を変更したり、同一地域内で調査範囲を変更している場合がみられ、調査人数にも違いがあります。

このため、4カ年の出現状況を単純に比較することはできませんが、経年的にほぼ同一場所で調査されているとみられる調査地域同士についてみると、種数は近似しており、同様の種が確認されている場合が多くなっていました。

付表 貴重種の出現状況一覧（平成23年度）

分類群	種名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2007年度版RL 3)	水産庁RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	
海藻類	緑藻類	スジアオリ			減少傾向		
	紅藻類	アヤギス （絶滅危惧Ⅱ類）		準絶滅危惧			
植物 （リスト掲載種のみ）		ホソアヤギス （絶滅危惧Ⅱ類）		準絶滅危惧			
		コウボウムギ		絶滅危惧Ⅱ類			
		ハマゴウ		絶滅危惧Ⅱ類			
海草類		ハマボウフウ		絶滅危惧Ⅰ類			
		コアマモ （絶滅危惧Ⅰ類）				希少	
貝類	貝（巻き貝）	アカニシ			減少	危険	
		アダムスタマガイ				危険	
		アラムシロガイ （準絶滅危惧）					
		イシマキガイ		要注目		減少	
		ウミミナ （絶滅危惧Ⅰ類）			準絶滅危惧	減少傾向	危険
		カキウラクチキレモドキ					危険
		カニモリガイ					危険
		カワザンショウガイ （準絶滅危惧）					
		クリイロカワザンショウガイ （準絶滅危惧）					
		クリイロコミガイ			絶滅危惧Ⅰ類		危険（本土）
		ゴマツボ					危険
		ヒナユキスズメ （絶滅危惧Ⅰ類）			準絶滅危惧		危険
		ヒモイカリナマコツマミガイ					危険
		ヒラドカワザンショウガイ （準絶滅危惧）					
		フトヘナタリ （準絶滅危惧）			準絶滅危惧		危険
		ホソウミナ （準絶滅危惧）					
		マルウズラタマキガイ 要注目種					危険
	貝（二枚貝）	イワガキ				減少傾向	危険
		ウネナシトマヤガイ （準絶滅危惧）			準絶滅危惧		危険
		カガミガイ 要注目種					
クチバガイ （絶滅危惧Ⅱ類）				準絶滅危惧			
ソトオリガイ （準絶滅危惧）						危険	
ヤマトシジミ （絶滅危惧Ⅱ類）				準絶滅危惧			
多毛類		コケゴカイ （準絶滅危惧）					
		タマシキゴカイ （絶滅危惧Ⅱ類）					
カニ類		アカテガニ （準絶滅危惧）					
		アシハラガニ （準絶滅危惧）					
		クロベンケイガニ （準絶滅危惧）					
		シオマネキ			絶滅危惧Ⅱ類	希少	危険
		ハクセンシオマネキ （絶滅危惧Ⅰ類）			絶滅危惧Ⅱ類		危険
		ハマガニ （絶滅危惧Ⅱ類）					
		マキトラノオガニ （絶滅危惧Ⅰ類）					希少
		モクズガニ				減少傾向	
		ヤマトオサガニ （絶滅危惧Ⅱ類）					
		ユビアカベンケイガニ （準絶滅危惧）					
魚類		イダテンギンボ （絶滅危惧Ⅰ類）					
		ウナギ			情報不足		
		ウロハゼ		情報不足			
		チチブ 要調査種		情報不足			
		ドンコ 要注目		要注目			
その他	エビ類	テッポウエビ （準絶滅危惧）					
		ユビナガスジエビ （準絶滅危惧）					
	アナジャコ類	ハサミヤコエビ （絶滅危惧Ⅱ類）					
ナマコ類	ヒモイカリナマコ 要調査種					危険	

注)
 1) 改訂・兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック2003、植物はレッドリスト2010
 ()は兵庫県評価を「改訂・日本版レッドデータブック」の相当カテゴリーに置換したもの。
 2) 大阪府における保護上重要な野生生物 大阪府レッドデータブック 平成12年3月
 3) 環境省 2007年度版レッドリスト
 4) 水産庁.1998.日本の希少な野生水生生物に関するデータブック.社団法人日本水産資源保護協会.437pp.東京.
 5) WWF Japan Science Report vol.3.1996.
 評価「普通」は省略した。
 6) 貴重種選定にあたり、基本的に水生動植物を対象とし、陸上植物は本調査のリスト掲載種に限定した。
 7) 各評価の区分と定義概念は下記による。特に区別の記載のない区分は環境省に準ずる。
 絶滅危惧Ⅰ類：現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。
 絶滅危惧Ⅱ類：現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが
 確実と考えられるもの。
 準絶滅危惧：現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を
 有するもの。
 情報不足：評価するだけの情報が不足している種。
 要注目種（兵庫）：最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種。
 要調査種（兵庫）：改訂・日本版レッドデータブックの情報不足に相当。
 要注目種（大阪）：「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」の区分以外で大阪府において保護上重要なもの。
 減少傾向（水産庁）：長期的にみて減少しつつあるもの。
 減少（水産庁）：明らかに減少しているもの。
 希少（水産庁）：存続基盤が脆弱な種・亜種。
 希少（水産庁）：絶滅の危険が増大している種・亜種（環境省に準ずる）。
 危険（WWF）：絶滅に向けて進行しているとみなされる種。今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では
 確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。
 希少（WWF）：特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。
 普通/希少（WWF）：地域により状況が異なる。
 8) 分類群のうち、植物はリスト掲載種に限定、動物は昆虫類・爬虫類・鳥類と哺乳類（該当なし）を除いた。

- 今年度初確認の貴重種（表中網掛け）
- | | | | |
|---------------|---------|----------|---------|
| アヤギス | 海藻類 | イワガキ | 貝類（二枚貝） |
| カニモリガイ | 貝類（巻き貝） | マキトラノオガニ | カニ類 |
| クリイロコミガイ | 貝類（巻き貝） | ウロハゼ | 魚類 |
| ゴマツボ | 貝類（巻き貝） | ドンコ | 魚類 |
| ヒモイカリナマコツマミガイ | 貝類（巻き貝） | | |
| ヒラドカワザンショウガイ | 貝類（巻き貝） | | |

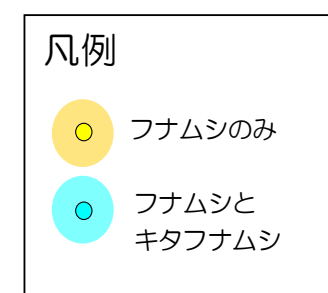
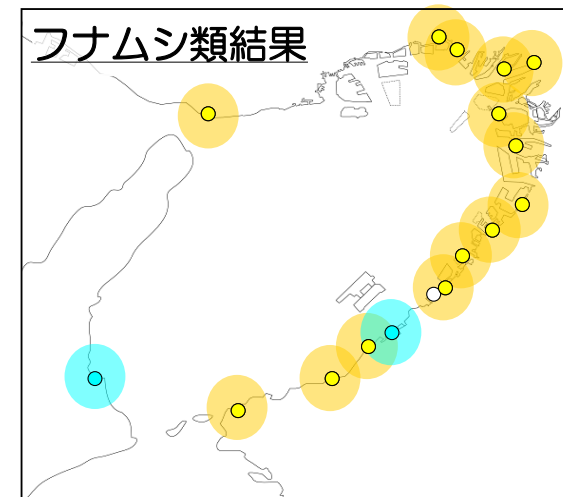
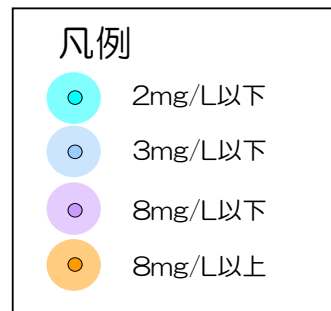
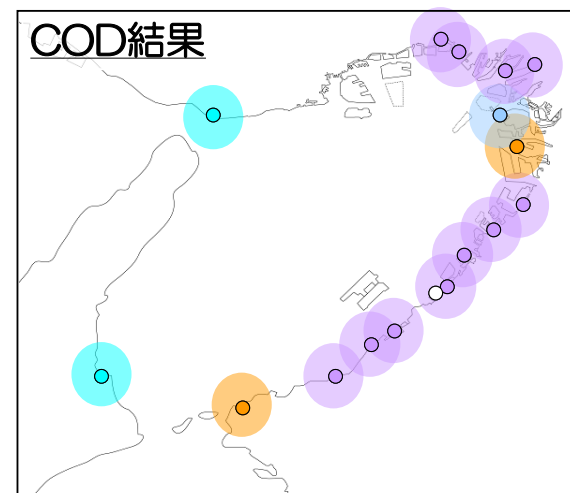
4. テーマ「水質を調べてみよう」、「キタフナムシをさがそう」の結果

今年度の調査では、調査の意義を増大させるためテーマを設定しました。各調査地域の状況は以下のとおりです。

(フナムシの単位：個体)

調査地点	担当団体	COD (mg/L)	塩分 (‰)	pH (-)	水温 (℃)	フナムシ	キタ フナムシ	場所の状況		備考	
								打ち上げの 海藻がある	岩に海藻が 生えている		
1	アジュール舞子	須磨海浜水族園 ボランティア	2	32.9		19.2	□				
2	香櫨園浜	西宮自然保護協会	8	13.9	7.0	26.5	7	0			
3	甲子園浜海浜公園	NPO法人 海浜の自然環境を守る会	8	-			30	0	○	海藻はあまり見られなかったが、打ち上げのテトラ付近にたくさんいた	
		生き生き地球館 子どもエコクラブ	6~8			23.5	0	0			
4	矢倉海岸	西淀自然文化協会	6	24			18	0		気温33℃、水温24℃	
5	十三干潟(淀川)	(社)大阪自然環境保全協会 淀川自然観察会 [6/5]	5			20	9	0		アオノリ類が転石に生えているが、フナムシがいた場所にはなかった	
6	大阪南港野鳥園	大阪南港野鳥園	3	-		26	26	0	○		
7	高師浜	浜寺公園自然の会	7.5				15	0	○		
8	大津川河口(左岸)	きしわだ自然資料館	6	3		22.2	9	0		塩分は河口側の値。漁港側は21‰	
9	阪南二区埋立地		4	25		28	1	0			
10	近木川河口	NPO法人 シニア自然大学校 森と海の自然科 [6/2]	6				13	0		○	
		貝塚市立自然遊学館 [5/15]									
11	二色の浜										
12	榊井川河口 岡田浦海岸	男里川干潟を守る会	7			21	4	1			
13	樽井海岸 男里川河口干潟		6			24	8	0			
14	せんなん里海公園	里海くらぶ連絡協議会	7	30.5	8.5	20	□			○	気温26℃、水質は表層の値、透明度2.4
15	東川(落合川)河口	きしわだ自然資料館 [6/5]	8以上	5		19.8	16	0			
16	洲本市大浜	国立公園 成ヶ島を美しくする会	2				11	0			砂浜
							0	5			磯
17	堺2区埋立地	(社)大阪自然環境保全協会 NPO法人 釣り文化協会	8以上	4			19	0		○ ※ごく少量	底層のCODは4mg/L

注：1) CODの測定にはバックテストを用いた。
2) フナムシの個体数を計測できなかった場合は、□を示した。



【変更履歴】

2026.3 P14 付表の差し替え